

運営委員長 山勢博彰（山口大学大学院医学系研究科）

本年度より本会の理事会組織が新しくなり、北里大学の黒田裕子先生が新理事長になりました。中国・四国地方会も役員の改正があり、運営委員、学術委員および広報委員等を継続してお引き受けいただいた先生と、新しく委員にご就任いただいた先生によって組織が構成されております。運営委員会では、継続して私が委員長の任を引き受けることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨今の看護研究を取り巻く環境は、エビデンスを見いだす研究、領域にとらわれない学際的な研究、社会にアピールできる研究など、確実に成果が見えるような研究が求められているように思います。特に、各学会において

は、診療報酬につながる研究が奨励されているようです。こうした研究テーマには研究助成金が支給され、研究遂行を促進するサポートもされるようになっていきます。しかし、多くの看護研究は、素朴な「臨床の問い」から発せられた臨床看護師がおこなう研究だと思います。そこに目に見えるエビデンスが無くとも、臨床の問いを解決できる何らかの成果を研究によって示すことができるでしょう。

臨床から発せられた「問い」を探求する看護研究をし、その成果を臨床に還元させるところに、看護の質向上をもたらす原動力があるのではと思います。本地方会は、こうした地道な臨床看護研究をサポートできればと考えています。

第25回学術集会在広島で開催されました

第25回学術集会実行委員長 広島大学 宮腰由起子

第25回学術集会は、広島市の広島大学霞キャンパスで平成24年3月4日（日曜日）に開催されました。生憎な春寒雨でしたが、北海道からも参加下さり、195人（会員150人、非会員39人、学生6人）の皆様が、研究発表（口演12題・示説30題）と毎回好評の学術委員会主催特別セミナーに教育講演にと、活発に討議下さいました。看護研究倫理を焦点とした2つの特別セミナーでは、内田宏美先生が基礎的知識を判り易く講義下さり、吾郷美奈恵先生が事例演習形式で具体的に学ばせて頂きました。3つの教育講演では看護研究で用いる頻度が高い活動測定について、弓削類先生が生体機能測定、樋口匡貴先生が評価尺度開発、梯正之先生がデータの扱い方の側面から、具体的に且つ丁寧に教えて下さいました。今回の学術集会での学びが皆様の看護活動に大いに資すると確信し、活気ある充実した集会となりましたことを参加者並びに御協力頂いた皆様に心から御礼を申し上げます。

第25回学術集会に参加して

香川大学医学部看護学科 野口英子

今回の学術集会には示説発表者として参加させていただきました。自身の発表だけでなく他の研究者の発表を聞かせていただき、多くの研究者の皆様と意見交換ができたことで、研究継続への意欲と新たな研究課題へのヒントをいただき大変有意義なものとなりました。また、今回のテーマである「活動を測る」では教育講演として統計学的な測定データから意味を引き出す適切なスキルや、質問紙調査や尺度作成の手法について具体的な講演いただき理解を深めることができました。特別セミナーではグループワークを通して「看護研究における倫理」について他の研究者の方々とともに考えることで、より質の高い看護研究に取り組むための示唆をいただき、今後の研究活動への取り組みにつながる大変実践的な内容となり、実りの多い学術集会となりました。

●平成 23 年度事業報告●

1. 第 25 回学術集会開催

実行委員長：宮腰由紀子 先生

(広島大学大学院保健学研究科教授)

日 時：平成 24 年 3 月 4 日 (日)

場 所：広島大学霞キャンパス

テーマ：「看護活動を測る－諸科学と看護学の協働－」

演 題：口演 12 題、示説 30 題、(計 42 題)

参加者：195 名

2. 平成 23 年度総会開催

日 時：平成 24 年 3 月 4 日 (日) 12:30 ~ 12:50

場 所：広島大学霞キャンパス

3. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第 1 回運営委員会会議 (平成 23 年 8 月 7 日、
横浜市)

①第 24 回学術集会 (徳島) の報告

②地方会活動計画、運営委員会活動、学術委員会活動、
広報委員会活動について報告

③第 25 回学術集会準備状況の説明

④第 26 回学術集会開催地実行委員長の決定
前田隆子先生 (鳥取県)

⑤第 28 回学術集会は、島根県で開催の決定

⑥第 24 回学術集会における野嶋良子先生の記念講演の
学会誌への掲載についての検討

⑦本会第 41 回学術集会 (平成 27 年) が広島で開催

(2) 第 2 回運営委員会会議 (平成 24 年 3 月 4 日、広島市)

①平成 23 年度事業報告

②平成 23 年度会計報告、監査報告

③平成 24 年度事業計画案

④平成 24 年度予算案

2) 学術委員会

(1) 第 1 回学術委員会 (平成 23 年 8 月 7 日、横浜市)
議 題：第 25 回学術集会における特別セミナー 1・

2 の講師および内容について

(2) 第 25 回学術集会において特別セミナーの開催

日 時：平成 24 年 3 月 4 日 (日)

場 所：広島大学霞キャンパス

(3) 第 2 回学術委員会 (平成 24 年 3 月 3 日、広島市)

第 25 回学術集会 特別セミナー 1・2 打ち合わせ

第 26 回学術集会 特別セミナー案の検討

3) 広報委員会

(1) 平成 23 年ニュース・レター 19 号を 9 月に発行会
員 940 名に送付した。

(2) 中国四国地方会ホームページを 9 月に更新。

●平成 23 年度会計報告●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	23 年度予算	23 年度実績	差異
前年度繰越金	275,275	275,275	0
地方会補助金	440,000	460,000	20,000
雑収入	154	80	- 74
合 計	715,429	735,355	19,926

【支出の部】

(単位：円)

費 目	23 年度予算	23 年度実績	差異
郵送費	80,000	74,480	- 5,520
事務費	40,000	630	- 39,370
人件費	30,000	20,000	- 10,000
各種委員会活動費	105,000	45,200	- 59,800
印刷費	60,000	72,051	12,051
ホームページ管理費	25,000	0	- 25,000
記念事業等積立金	50,000	50,000	0
学術集会支援金	50,000	50,000	0
予備費	10,000	0	- 10,000
次年度への繰越金	265,429	422,994	157,565
合 計	715,429	735,355	19,926

●委員会より●

【学術委員会】

平成 23 年度の学術委員会は、第 25 回学術集会 (in 広島) において、研究倫理委員会の委員長経験のあるお二人を講師に迎え、2 つのセミナーを開催しました。セミナー 1 は島根大学の内田宏美教授に研究倫理の基礎について講演いただきました。セミナー 2 は研究遂行上の様々な倫理的課題を取り上げ、3 グループに分かれて具体的な討論を行い、最後に島根県立大学短期大学部教授の吾郷美奈恵教授からコメント・総括をいただきました。セミナー 1 への多数の参加者、セミナー 2 での熱心な討論を通じて研究倫理への関心の高さが伺われました。

(学術委員会委員長：中西純子)

【広報委員会】

中国・四国地方会広報委員会では、ニュース・レター 20 号の発行とホームページを更新いたします。中国・四国地方会会員の皆様への情報提供の場として、皆様の活動をご報告していくために広報委員会として取り組んでいきたいと思っております。皆様からのご意見等をお待ちしております。

(広報委員長：當目雅代)

●平成 24 年度事業計画●

1. 第 26 回学術集会開催

実行委員長：前田隆子先生（鳥取大学医学部保健学科）

日 時：平成 25 年 3 月 3 日（日）

場 所：鳥取県（鳥取大学）

2. 平成 24 年度総会開催

日 時：平成 25 年 3 月 3 日（日）

場 所：第 26 回学術集會会場（鳥取大学医学部内）

3. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 24 年 7 月 7 日（土）16:00～

場 所：第 38 回日本看護研究学会学術集會会場
沖縄コンベンションセンター

(2) 第 2 回

日 時：平成 25 年 3 月 2 日（土）

場 所：鳥取大学

2) 学術委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 24 年 7 月 7 日（土）運営委員会終了後

場 所：第 38 回日本看護研究学会学術集會会場
沖縄コンベンションセンター

(2) 第 2 回

日 時：平成 25 年 3 月 2 日（土）

第 26 回学術集會前日 運営委員会終了後～

場 所：鳥取大学

3) 広報委員会

(1) 平成 24 年度ニュース・レター No.20 号を 9 月に発行。会員約 940 名に送付。

(2) 中国・四国地方会ホームページの更新。

●平成 24 年度予算●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	23 年度実績	24 年度予算案	差 異
前年度繰越金	275,275	422,994	147,719
地方会補助金	460,000	470,000	10,000
雑収入	80	80	0
合 計	735,355	893,074	157,719

【支出の部】

(単位：円)

費 目	23 年度実績	24 年度予算案	差 異
郵送費	74,480	80,000	5,520
事務費	630	20,000	19,370
人件費	20,000	30,000	10,000
各種委員会活動費	45,200	65,000	19,800
印刷費	72,051	75,000	2,949
ホームページ管理費	0	0	0
記念事業等積立金	50,000	50,000	0
学術集會支援金	50,000	50,000	0
予備費	0	10,000	10,000
次年度への繰越金	422,994	513,074	90,080
合 計	735,355	893,074	157,719

●特別会計（記念事業等積み立て基金）●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	23 年度実績	24 年度予算案	差 異
前年度繰越金	190,373	240,419	50,046
当年度積立金	50,000	50,000	0
雑収入	46	50	4
合 計	240,419	290,469	50,050

【支出の部】

(単位：円)

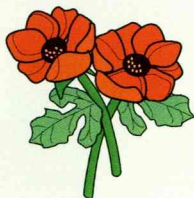
費 目	23 年度実績	24 年度予算案	差 異
次年度繰越金	240,419	290,469	50,050
合 計	240,419	290,469	50,050

●事務局より●

早いもので、事務局が山口大学医学部保健学科に移設され 3 年目を迎えました。平素より、会員の皆様、並びに運営委員の先生方のご支援を頂いておりますこと心より感謝申し上げます。今後も精一杯努めてまいりますので、ご指導、ご助言を宜しくお願い申し上げます。

お問い合わせは、

事務局専用アドレス Jscr-cs@yamaguchi-u.ac.jp
にお願い致します。



一般社団法人 日本看護研究学会 第26回 中国・四国地方会学術集会のご案内

看護は実践の中で活かされ、看護における研究は日々の看護の質の向上に寄与することが求められます。平成24年度の学術集会は看護における研究と実践に焦点を当て、企画したいと考えています。会場のある米子市は「ゲゲゲの女房」でも知られるようになった水木しげるロードのある境港市に隣接し、皆生温泉もお楽しみいただけます。また、山陰は多くの神話でも知られ、古事記編纂1300年、ゆっくり神話の里をお楽しみいただければ幸いです。古事記によると、大国主神（おおくにぬしのみこと）が皮を剥がれたウサギの治療をした後、出雲に向かう途中で真っ赤に焼けた岩を取り押さえようとして亡くなりました。彼を蘇生させたのが赤貝と蛤の女神だった由、施療したと記されている神社が残っています。このような山陰の地に多数の皆さまがご参加くださり、研究の基礎となる学び、日頃の研究成果のご発表と活発な討議、楽しい交流をしていただけることを願っております。

第26回中国・四国地方会学術集会 実行委員長 前田隆子（鳥取大学医学部保健学科）

■テーマ：クリニカルクエスト、そして研究！

会 期：2013年3月3日（日） 9:00～16:30

会 場：鳥取大学医学部 米子キャンパス アレスコ棟

※アクセス：米子駅から徒歩15分、タクシー4分、米子鬼太郎空港からタクシー20分

■プログラム

○一般講演（口演・示演）

○特別講演：ベッドサイドが面白い：実践と研究 最前線

筑波大学名誉教授 紙屋 克子 先生

○特別セミナー（学術委員会企画）：公開“研究のスタートアップ支援”

○教育講演：

論文クリティークの意義と方法

大阪市立大学教授 河野 あゆみ 先生

基本的な疫学研究方法論

鳥取大学名誉教授、YMCA 米子医療福祉専門学校校長 岸本 拓治 先生

心理的な研究へのつながり

鳥取大学大学院教授 井上 雅彦 先生

◎企業展示

◎懇親会 日時：2013年3月2日（土） 会場：米子ワシントンホテル 会費：5,000円

演題・抄録受付：2012年10月25日（木）～11月24日（土）

■参加申し込み

	事前参加登録：2013年1月10日（木）まで	当日参加
会 員	4,000円	5,000円
非会員	5,000円	6,000円
学 生	1,500円	2,500円

お問い合わせ先

日本看護研究学会 中国・四国地方会 第26回学術集会事務局

〒683-8503 鳥取県米子市西町86番

鳥取大学医学部保健学科 母性・小児家族看護学講座内 事務局担当 鈴木康江

TEL：0859（38）6326 / FAX：0859（38）6320

E-mail：kenkyu26@med.tottori-u.ac.jp

発 行 〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 山口大学医学部保健学科内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 運営委員長 山勢 博彰 広報委員長 當目 雅代

